

そして、今。。。

鈴木真人

「うおー！ はようバイクに乗りたいた
な——！ くそったれ、卒研に入った
らバイクに乗る暇もあらへんやんけ」
だが、4月から毎日バイクに乗れる
と思うとうれしくなっくしまう、なん
せバイク通勤だからな、

“ポニポニ” っく知っくま、オートバ
イ発祥の地「浜松」どはバイクのこ
をポニポニ っく言らんがせ、ポニポニ
って、なんていい響きを持、た言葉
だるら、浜松の人間はみんなポニポニ
に乗ったことある人ばかり、だからポ
ニポニの良さをよく知っくいる、反面
ポニポニの恐さもすうに知っくいる、
けどね、ポニポニの悪口は言わない、
ポニポニは危ないとは言うけど、乗
るとは絶対言わらん、
「気をつけろ乗れよ！」
この一言を人だよね、みんなわか、こ
んだよね、俺たちの気持ちを

今から7ヶ月年前、俺が中学生のころ、あのグリーンに輝くYAMAHA XS-1に乗せてもらった感激は今でも忘れられない。ドゥドゥドゥ... というバーチカルツインの叫びがたまらなかった。あのころはいいポニポニかいいいあった。けど、XSを初めとして、KAWASAKI W1 Special HONDA CB750 YAMAHA TY250 DT250 etc と味のあまるポニポニが多かった。

俺が高校生ころ、俺は毎日、サッカーに熱中していた。朝は早起きして学校へ行き、早朝練習、そして正規の練習が終わった後もボールを打っていた。そんな毎日の俺にとっては、ポニポニは忘れられない存在に近かった。忘れたいのでもない、俺は16才になった時、原付の免許を取得してポニポニを乗りまわしたかった。しかし、サッカーをして...ポニポニに乗ることは、とんでもない強さな自分には無理だと思った。俺はサッカーを優先し、ポニポニを忘れるように努力した。けど、サッカーをしていて

本当に良かったと思うことがある。サッカー部自体の成績は、県内ベストの最高で、高校選手権では、静岡工業に、新人戦では、藤枝東に、ハイでは、静岡学園に負けた。自分としては、結果どうであれ、サッカーをやったことはプラスであり、サッカーをやったからこき今の自分があると思っている。向こうの自分があると、一種の自信に通じるものではないかと思う。

ところで、僕はなぜサイクリング部に入ったのだろうか。入学当時、サッカー部に入るうかとも考えたし、自動車部なんかもいいなと思った。そんな時、サイクリング部の説明会を見に行った。T.Tのfly mmをやったかと思う。そのフィルムを見るときに、感動した。おもしろさうだの一言に、つよむと思、た。サッカー部も完全にあきらめたわけはなかったが、サッカーでは、つよむと自分か物足りなさを感ずるだろうと自分か思う。うまうま、えなけれど、自分の世界をもっとも

と広げてみたくな、また、自動車部
だ。いろいろな所へ行けるとも思っ
たが、サイフリニグとは決定的な違い
がある。Jeepなどは別として、自動車
は概して箱の構造であり、その中で
車を回す、そのことが違いをもたす。
何か違うかという、サイフリニグニ
チャリニコには「風」がある。走っ
ている場所ごとで違う風がある。走っ
ているスピードによ、とも違う風がある。
地所に行けば、その場、その場での香
りだ、と違う。その山を自分の肌で感じ
とることかできる。

また、チャリニコはポンポンと同じ
2輪だ。た、こと、今考えるとよと
付くさい気もするが、そこかまたい
いとも思う。動力こそ、人力とエンジ
ンと違うか。2輪であることに変わり
はない。in English には motorcycle
と言うからいだから 本田宗一郎だ、
が自動車に原動機を付けて走り、その
後、ポンポンを作ったんだ。2輪って
いうのは4輪では絶対に奇い味をも
ていと思う。コーナーやカーブの楽し
しさといったら2輪だけのものだと思

う、リーニウイズ、リーニアウト、アウト、リ
ーニイニ、アウ、イン、アアウト、な
ど口を言うより、自転車の接近の感も同じこと
を感じた時、それはポニポニ
高ぶるだけ、

今でも俺は千やリーニコは大好きだ、
あの自力が峠と越える楽しさはいくらもあの
りストならどほのものだと思、あの
苦しみにいっただらまらまい、体調の
衰えあしど、自分分の走り才が全く
一スど一気に行けるけど、体調の悪
時をいれ、古木下り坂、いっそのま
夕に下りたくなるよな」とい
心境になる時もある、寝不足で、体が
と全くため、合宿では、最初の、体が
宿ペースではないのだから、上りか
きつかったが、体がきつくと走り切
んぞくるとすいすいと走れるよ
になる、そういう時は、人間の体とい
うのはよくぞきこむとつくづく感
心しくしなう

合宿も、北海道、東北、九州、四国
というところへ行っただが、どこもあもしろ
かったし、楽しいものがあった。

俺はポニポニに乗って、よく注意して
いることがある。ツーリングに行っただ
時などは、特にまわりの風景を見るよ
うにして、ポニポニだつといついで
スピードを出して走ることだけを目的
としてしまいかつあるが、ふと立ち
止まると自分の来た道をえり返って
みる、そんな時、晴しい景色を見る時
だ、とあると思う。千ヤリニコだ、と
同じだ、ただ上る、ただ下るんじゃない
と自分の来た道をえり返ることか、大切
だ、と思う。もうこんな上ったのかとか
か、さっきはあんな所にいたのかとか
あらためて自分の来た道をなめる、
その小とか、千ヤリニコか、ありと自分
の回りをぐるりとなめる、千ヤ
リニコに乗って、いる時とは違った、
俺がみつけると思う、そのくらゐ、
俺はツーリングこそ、ポニポニだ、
千ヤリニコしかどきないものだ、と思う。

昨年の4月か2月ごろ、僕は大井町の駅前が一台のポニポニを買った、そのポニポニが僕にポニポニの血まよみかえらせた、それはYAMAHA XS650 Special中乗のころの感動がよみかえ、またたきの時から、もうポニポニがほしくなたまらなくなかった、別に体があつらえたかちやりニコからポニポニにしたのどほらい、自分どきうしないと気がすまなかつたからだ、

みんなもいつかちやりニコからおろる目かくまことださう、その時、一度ポニポニにまたか、こほしい、ポニポニを馬鹿にしなれど乗、こほしい、ちやりニコとは違ふけど、ちやりニコに似た感覚があるのかゆかろと思ふ、そしてオフロードバイクが林道にトライしてほしい、富士山の遺沢林道なんか最高にGoodだぜ、オフロードバイクが箱根あたりのワインディングロードを走ったもいとも思ふ、

一生ちやりニコで走り回らうとしている人ども一度はポニポニを味わってほしいと思ふ、

後の愛車は今、YAMAHA XT250 早く
浜松へ帰る。2 遠州の森の中を駆けめぐ
りたいと思う

そして、今、ポニポニに夢中の毎日
である。



去年はこの道と自分だけの力で
走った
苦しく、もうイヤだと思った
今年もSOHCの心臓と共に走る
しかし、あの苦しみを忘れたわ
けではない
あの苦しきは決して忘れない
そして、今、
走り終えた後での喜びを再び思
い出す

